

テーマ設定型事業（令和7年度活動事例）

地縁組織応援キャラバン事業

事業の概要

少子高齢化等に伴う担い手不足が課題となっている地縁組織に対し、課題の見える化から解決に向けた伴走支援を進めるとともに、事業の棚卸しのヒント等を含んだハンドブックのリニューアルを行いました。

◆実施内容

・伴走支援

運営上の課題が生じている町内会・自治会に対しヒアリングを行い、伴走支援を希望した町内会・自治会については会議等に同席し、事業の棚卸し、現状分析又は課題解決に向けた企画運営等の支援、解決への気付きを促すアイデアや仕組み等の提供といった、課題解決に向けた伴走支援を行いました。今年度は5つの町内会・自治会から相談を受け、ヒアリングを行った結果、3つの町内会・自治会を対象に伴走支援を行いました。そのうちの1つの町内会では、役員の後継者がいないため、休会を検討していました。しかし、伴走支援を通じて町内会活動の棚卸しや住民アンケートを実施したことで、今後必要な活動の取捨選択に繋がったほか、住民からも支援の声が上がり、町内会継続の方針が決まりました。

・ハンドブックの作成

平成27年度に作成したハンドブックに事業等の棚卸しのヒントのページを追加し、リニューアルしました。

事業の実施を通して

支援に当たっては、町内会・自治会の現状の立て直しをしつつ、持続可能な地域運営や長期的な取組の必要性を役員の方々に理解していただくことを念頭に活動しました。また、地道な話し合いや住民アンケート等といった住民に町内会活動を理解してもらうための取組を続けたことで、数名の新役員が誕生した町内会・自治会もありました。

つい目の前の問題への取組が優先されてしまいがちですが、中長期的な視点での話し合いも継続していくことが大切であると改めて認識しました。単発ではなく、継続的な伴走支援であることが、このような結果（効果）に繋がったのだと考えています。

（特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21）

【実施主体】

特定非営利活動法人

いわてNPOフォーラム21

【設立年月】 平成15年9月

【代表者】 代表理事 浅沼 道成

【主な活動実績】

○盛岡市NPO連絡協議会

事務局としてイベントや勉強等を開催。県と連携して県内市町村担当者との意見交換会の実施

○エコ協力店認定等事務

岩手県からの受託事業として、エコ協力店認定制度の普及啓発や認定申請の審査等を実施

○幸福について考えるワークショップ開催事業

岩手県からの受託事業として、いわて県民計画の推進に向け、県民一人ひとりが自身の幸福を考え、未来に向けてどのような行動をするかを考える機会の提供

【協働担当課】

市民協働推進課

【令和7年度補助額】 400,000円

